

# 赤城山ができるまで 小学校低学年、シニア生活科

## File 3 - 5: 火山活動から生まれた自然の中で、開発の影響を考えるプログラム >>>> 赤城山の歴史を知ろう

(ねらい) 赤城の自然に直接触れる活動を通して、外輪山・火山原湖・中央火口丘の後退による湿原と植生の変化について理解することができるようになる。

赤城小沼駐車場～長七郎岳山 (所要時間 40分)

自然観察をしながら、登山をする。到着後、火山の創生についての話を聞く。



【講話】小沼の伝説、赤城姫(赤城道元の娘)の話。

【観察】頂上から見た外輪山や小沼。頂上の植物や周辺の植物の違い。



移動

覚満淵(所要時間 35分)

湿原の成り立ちと開発行為による生き物への影響や変化を体感する。



【講話】水門の建設、他から移植された植物の影響、湿原の遷移についての話。

【観察】池の中の生物ヤマヒゲナガケンミジンコやヤマアカガエルなど。

**指導体制**：指導者1名、指導助手4名 に対し **対象人数** 25～30名

**準備**：ビジターセンターの展示物・パネルを使った、赤城の動植物の解説(雨天対応)

**留意点**： 登山装備、参加者の体力等への配慮を徹底する。  
昼食をとる場合には、天候に応じて場所を確保する。  
登山時には、予定時刻を気にしながら自然観察を行う。

**プログラムの関連性**：

**小学校学習指導要領**

**生活科 内容(3)** 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

**内容(5)** 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。